

2022年8月18日

2022年12月期 第2四半期 決算説明資料

東京証券取引所プライム市場：4641

第2創業期

人が未来-Next Technology Frontier®

 **Alps** 株式会社 アルプス技研

■ 当社グループのコロナウイルス感染症対策について

当社グループは新型コロナウイルス感染症の再拡大に備え、在宅勤務、オフピーク通勤やTV会議、オンライン研修の活用など、お客様、従業員の安全に配慮し、事業の継続に向けて対策を推進しております。

1. お客様の要請に応じた感染症対策

- 1) お客様先の状況に応じた就業スタイルへ柔軟に対応
- 2) オンライン営業・商談の推進
- 3) 社員の感染が疑われる場合の迅速な対応（本人への状況確認や出勤停止等）

2. 当社グループの感染症対策

- 1) マスク着用、咳エチケット、手洗い・うがい、消毒液の利用を徹底
- 2) 自社ビル内のフロア往来自粛、食堂利用の原則禁止
- 3) オフィス内に飛沫防止用アクリルボード、ビニールシート等を設置

3. 勤務形態・業務の変更

- 1) 社員の在宅勤務、休暇取得の推進、オフピーク通勤の継続
- 2) イベント、懇親会、国内出張の自粛、海外出張の原則禁止
- 3) TV会議やスタジオを活用したオンライン研修と、オンライン採用の実施

4. 体調不良時の対応

- 1) 本人が発熱した場合の出勤禁止
- 2) 同居家族が発熱した場合の出勤自粛

■ 目次

- 1 2022年第2四半期 概況
- 2 次世代を作る施策
- 3 2022年度 業績予想
- 4 2022年度 配当予想
- 5 中期経営計画
- 6 サステナビリティ・ESG

■ 2022年第2四半期 概要 -外部環境-

新型コロナウイルス感染症の影響により、先行き不透明な状況は依然と続いております。

製造業界

輸出動向

回復基調にあったが、
部材供給の不安や感染
再拡大によりペースは鈍化

業界動向

- ・半導体不足やサプライチェーンの混乱を受け生産部門に影響
- ・設計開発フェーズは研究開発投資の維持により堅調

人材業界

派遣要請

- ・需要は底堅く推移
- ・在宅形式の派遣は継続

人材獲得競争

求人数は回復が続いており、
前年同月比47.9%増加。

■ 2022年第2四半期 概要 -1-

- ・連結 稼働率は堅調に回復。
- ・個別 稼働率は高水準を維持。契約単価も上昇傾向

(単位：百万円)

【連結】	2021年12月期 第2四半期	2022年12月期 第2四半期	増減率
売上高	18,770	20,811	10.9%
営業利益	1,732	2,195	26.7%
経常利益	2,314	2,070	△10.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,552	1,573	1.4%

【個別】	2021年12月期 第2四半期	2022年12月期 第2四半期	増減率
売上高	15,107	16,261	7.6%
営業利益	1,604	2,025	26.2%
経常利益	2,248	2,138	△4.9%
四半期純利益	1,574	1,724	9.5%

※2022年12月期期首より「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

■ 2022年第2四半期 概要 -2-

- ・売上高は前年同期比10.9%増
- ・当期純利益は前年同期比1.4%増

(単位:百万円)

【連結】	2021年12月期 第2四半期	2022年12月期 第2四半期	増減率
売上高	18,770	20,811	10.9%
売上原価	14,555	15,868	9.0%
売上総利益	4,214	4,942	17.3%
販管費	2,482	2,747	10.7%
売上高販管費率	13.22%	13.20%	△ 0.0%
営業利益	1,732	2,195	26.7%
売上高営業利益率	9.23%	10.55%	1.3%
営業外収益	605	122	△ 79.7%
営業外費用	22	247	980.3%
経常利益	2,314	2,070	△ 10.5%
特別利益	0	300	-
特別損失	0	2	1219.8%
税引前四半期純利益	2,314	2,367	2.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,552	1,573	1.4%
売上高四半期純利益率	8.27%	7.56%	△ 0.71%

営業利益

稼働率の回復により、大きく改善。

売上高営業利益率
10%台へ回復。

経常利益

雇用調整助成金の減少。

■ 2022年第2四半期 概要 -3-

・社員数、稼働人数、契約単価は上昇、工数は横ばい

技術社員数

※2022年6月末時点



稼働人数

※2022年6月末時点



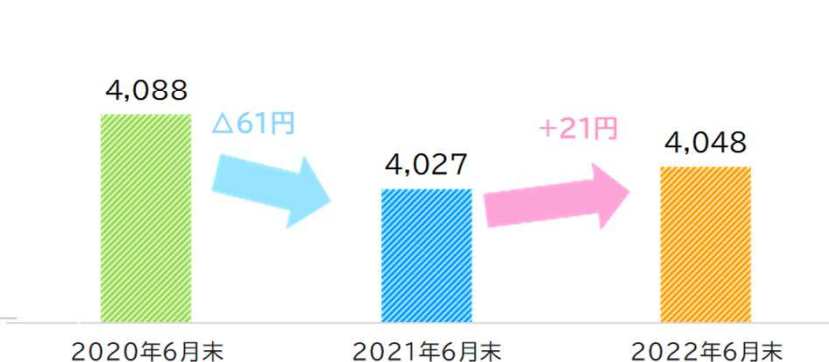
稼働工数

※2022年6月末時点



契約単価

※2022年6月末時点

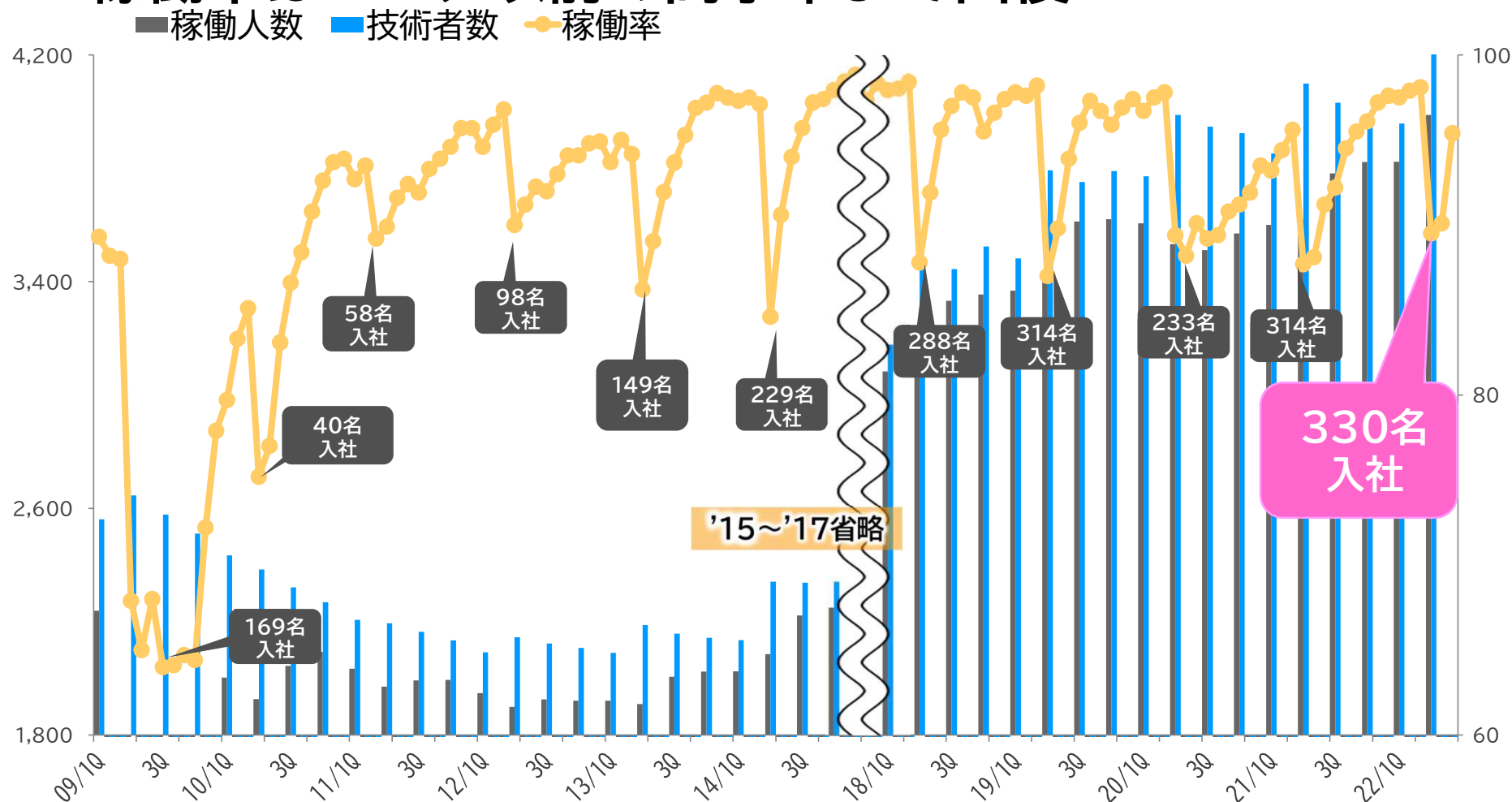


※契約単価・・・顧客との契約に基づく「1時間当たりの単価」。売上を構成する「実単価」とは異なり、残業代を含まない。

※稼働工数・・・技術者として業務に対応した「月当たりの実務時間」。

2022年第2四半期 概要 -4-

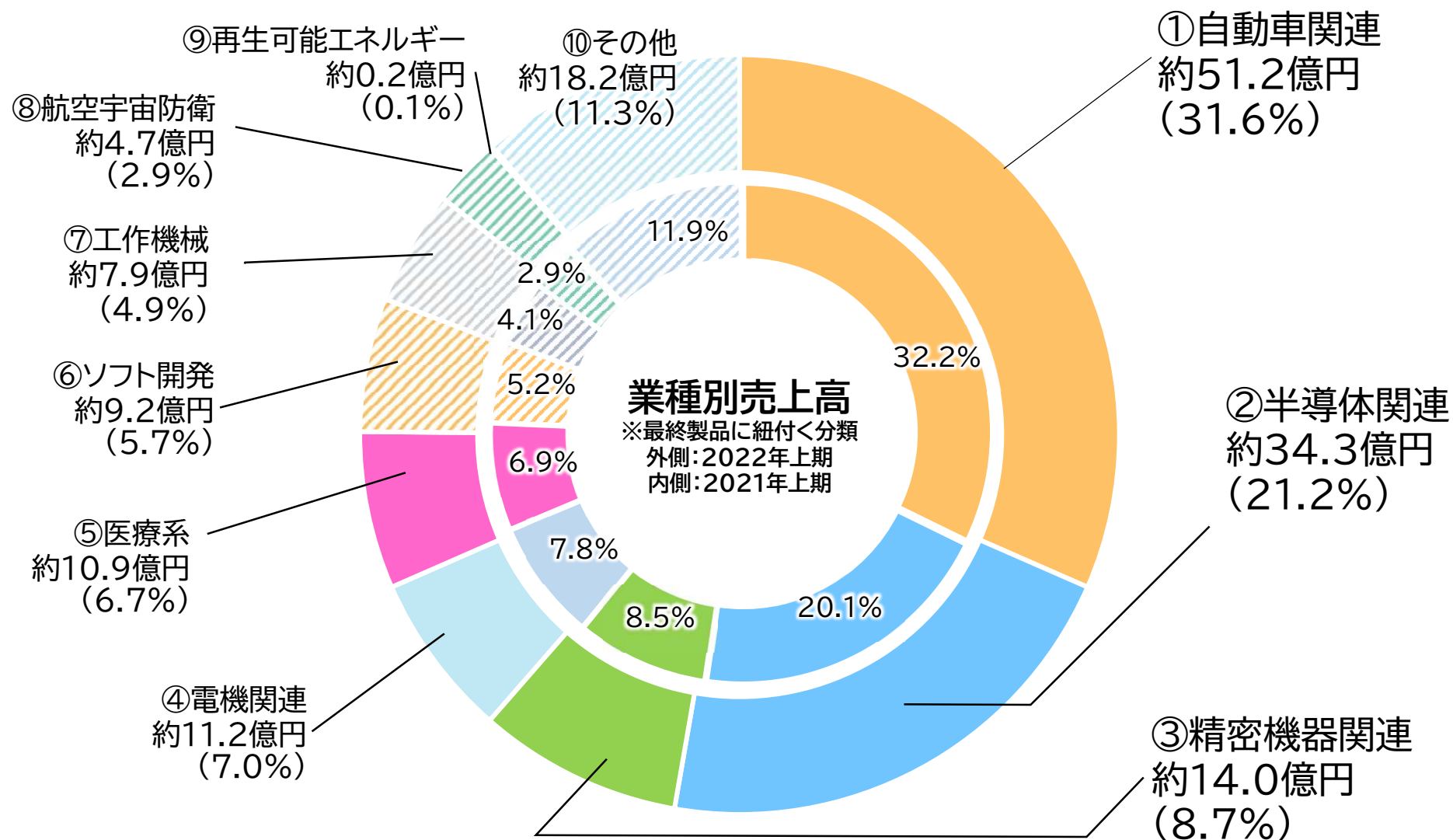
- ・人材の質をさらに重視した採用を継続
- ・稼働率はコロナ以前の高水準まで回復



①稼働人数…四半期ごとの稼働人数 ②技術者数…四半期毎の技術者総数 ③稼働率…新卒を含む月当たりの全社稼働率
④グラフ内入社数…4月入社の新卒技術者数(キャリア採用・秋入社のグローバルエンジニアは含まない)

2022年第2四半期 概要 -5-

- ・半導体関連が好調
- ・自動車関連は割合減るも、売上高は増加



■ 2022年第2四半期 概要 -6-

・売上上位10社

2020年度 通期	2021年度 通期	2022年度 第2四半期
東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ
三菱電機	キオクシア	キオクシア
キオクシア	三菱電機	三菱電機
東京エレクトロン宮城	東京エレクトロン宮城	東京エレクトロン宮城
ソニーセミコンダクタ	ニコン	ソニーセミコンダクタ
ニコン	ソニーセミコンダクタ	ニコン
ソニーLSIデザイン	東芝エネルギーシステムズ	東芝エネルギーシステムズ
デンソーテン	日立Astemo	日立Astemo
東芝エネルギーシステムズ	デンソーテン	デンソーテン
三菱重工業	日立ハイテク	日立ハイテク
上位10社比率 18.2%	上位10社比率 21.6%	上位10社比率 22.5%

IoT/5G等の需要増加により半導体関連ニーズが堅調

■ 次世代を創る施策 ～これまでの軌跡～

設計事務所からスタートした独立系企業 創業54年目の「業界のパイオニア」

【1968年】

＜当時の課題＞
機電一体設計を請負う
会社がない



設計事務所を創業

＜お客様の声＞
隣で設計開発してほしい



技術者派遣を開始



松井設計事務所
(神奈川県相模原市)

事業領域の拡大
(農業・介護)

外国籍人材の
活躍推進

グループ全体で
ものづくりの全行程をカバー

開発設計
サービスの提供

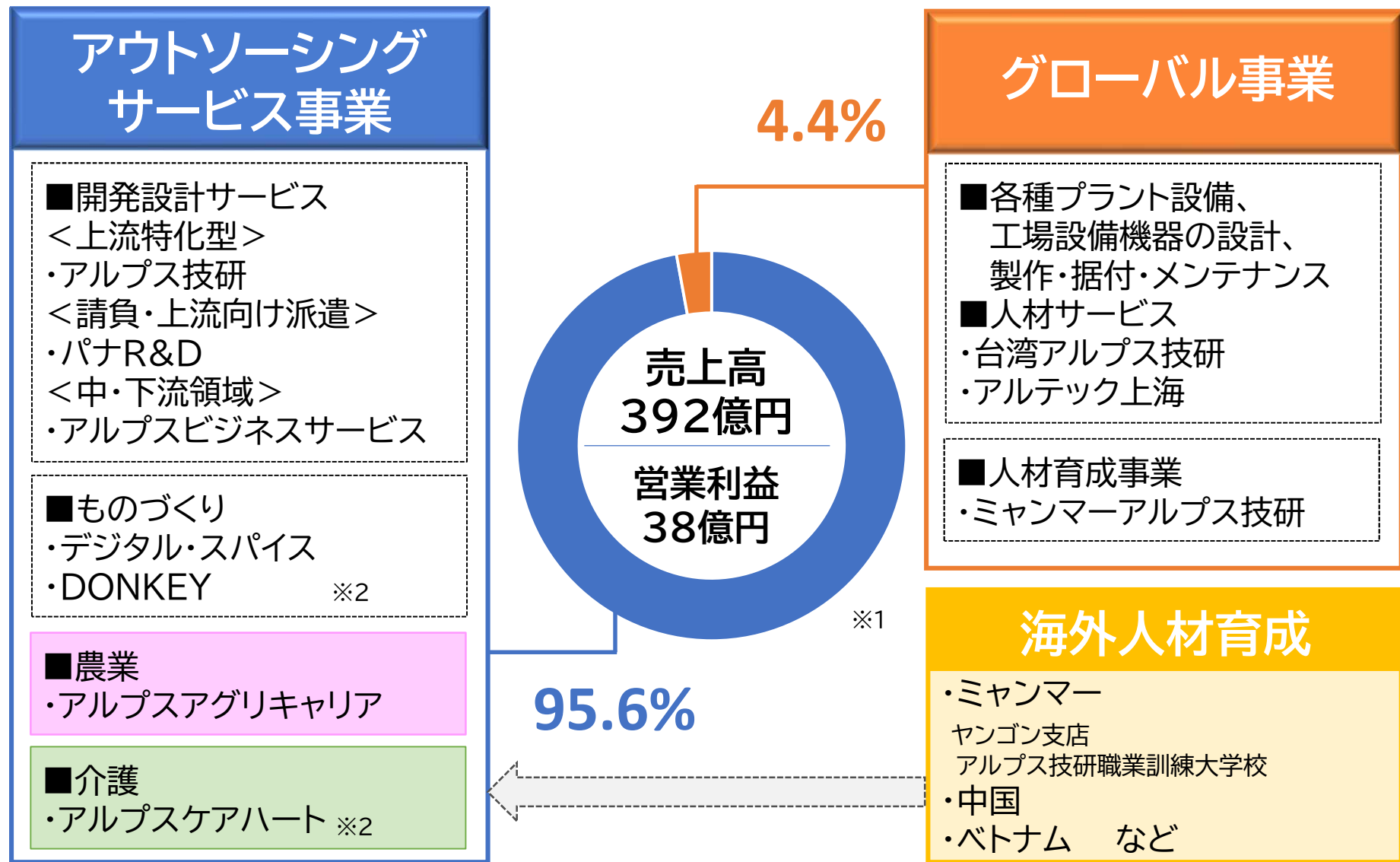
【2022年】

グループ6千人
の会社へ成長
(本社:神奈川県横浜市)



◆社会的課題の解決をビジネスチャンスに事業拡大◆
◆「ものづくり」にこだわりを持つ高度技術者集団◆

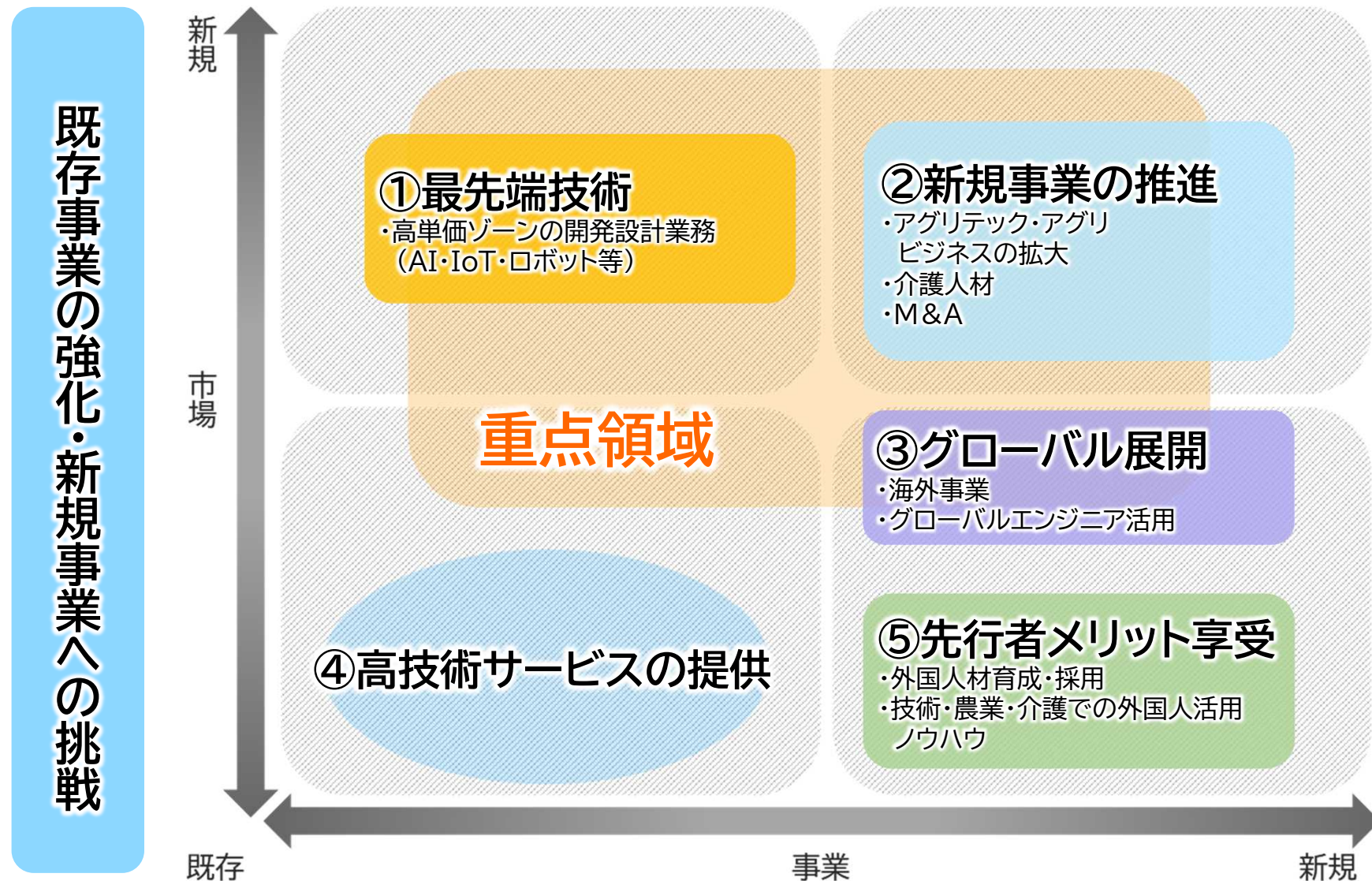
■ 次世代を創る施策 ～現在の事業体制～



※1…売上高、営業利益は2021年12月期 連結実績

※2…(株)アルプスケアハートは2021年7月1日設立、(株)DONKEYは2022年2月7日連結子会社

■ 次世代を創る施策 ～中長期成長ビジョン～



■ 次世代を創る施策 ～2022年度個別施策①～

成長を支える3本柱
「採用・教育・営業」の好循環

採用

- ①リファラル採用・グループ連携採用の強化
- ②エンゲージメントを高め、主体的に魅力を発信
- ③SNS等を活用し、採用ブランドを定着

達成目標

- '23新卒320名採用
- '22キャリア120名採用

教育

- ①オンラインを活用した自己啓発環境の改良
- ②研修や勉強会における社員間の連携を強化
- ③お客様から選ばれ続けるカスタマイズ研修

自律的なキャリアアップ、リスクリングを推進しサービスの質を高める

営業

- ①スピード感あるソリューション営業の強化
- ②先端技術や環境などの新領域開拓を加速
- ③教育と連携し、より成長できる分野へシフト

更なるスキル向上が可能な分野へシフトし、より高付加価値なサービス提供によるCSブランド向上

■ 次世代を創る施策 ～2022年度個別施策②～

3つの柱を軸に施策を連動させ、
CSブランドを強化し、着実に成長

採用

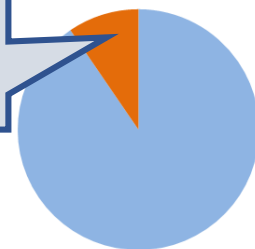
グループ従業員数

約**6,000名**

※2022年4月1日実績



うち、約10%は
外国籍人材が
活躍中



教育

会社用意する講座数

約**855講座**

※2021年12月末実績

各拠点での勉強会

2,378回

※2021年12月末実績

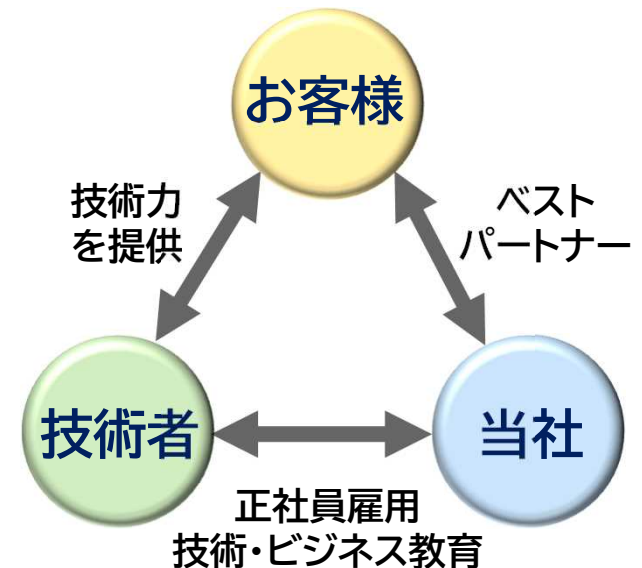
勉強会テーマ

- ・専門技術
- ・資格取得
- ・キャリア開発
- ・リーダー育成 etc.

先端分野に注力

営業

信頼のトライアングル



技術者を正社員として雇用し、
お客様の多様なニーズに応じて
技術提供サービスを実施

■ 2022年度業績予想

連結：最高業績更新へ
稼働率の回復により営業利益の改善を見込む

(単位:百万円)

【連結】	実績			業績予想	
	2021年度通期			2022年度通期	
	2021年12月期 公表値(通期)	実績	公表比	金額	前期比
売上高	40,000	39,261	98.2%	42,500	8.2%
営業利益	4,000	3,875	96.9%	4,550	17.4%
経常利益	4,400	4,574	104.0%	4,590	0.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,060	3,095	101.1%	3,120	0.8%

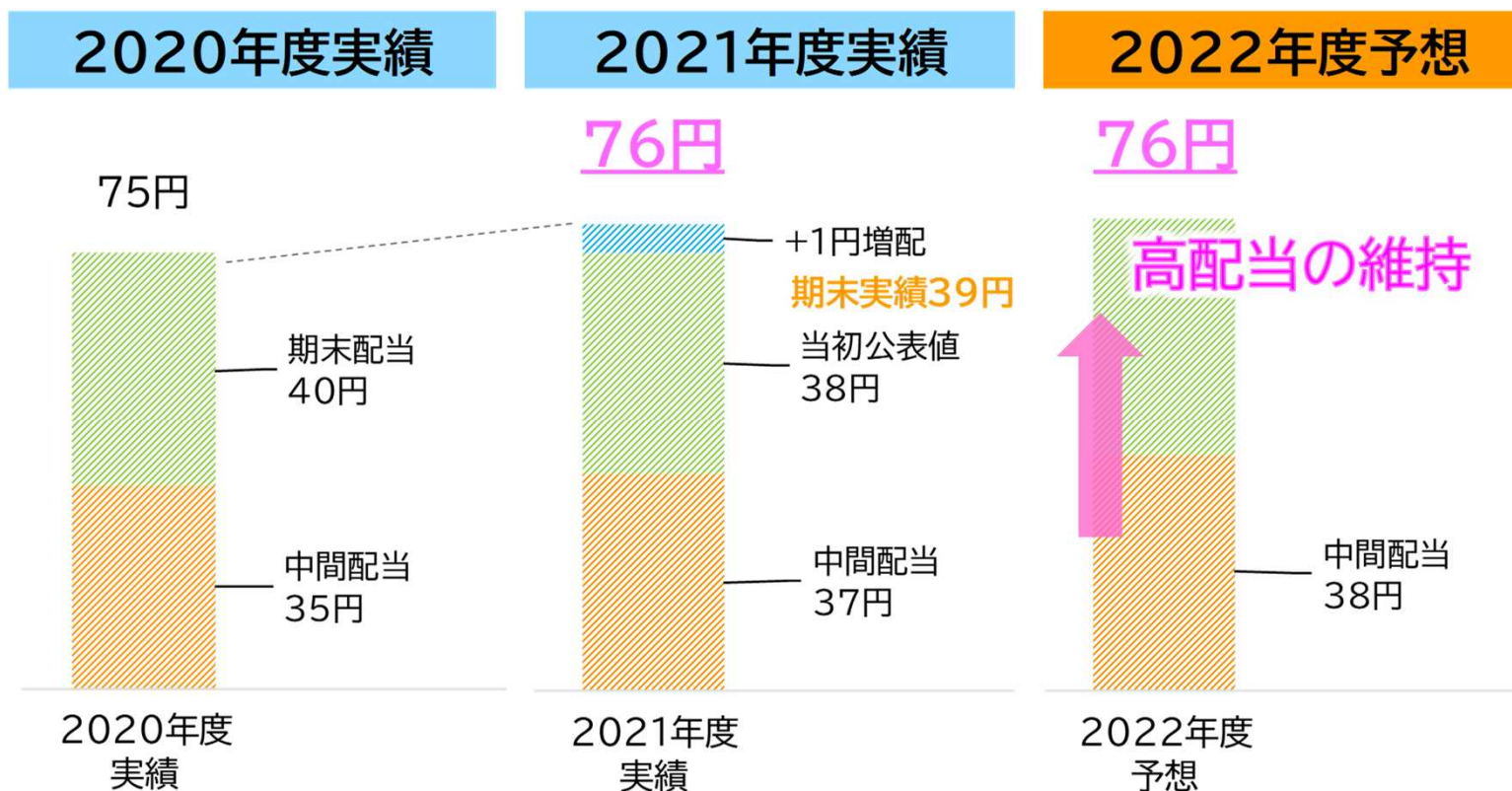
【個別】	実績			業績予想	
	2021年度通期			2022年度通期	
	2021年12月期 公表値(通期)	実績	公表比	金額	前期比
売上高	31,600	30,902	97.8%	32,700	5.8%
営業利益	3,500	3,416	97.6%	3,900	14.2%
経常利益	4,100	4,142	101.0%	4,170	0.7%
当期純利益	2,850	2,868	100.6%	2,880	0.4%

■ 2022年度配当予想

・配当予想（2022年度年間配当金）

配当の基本方針

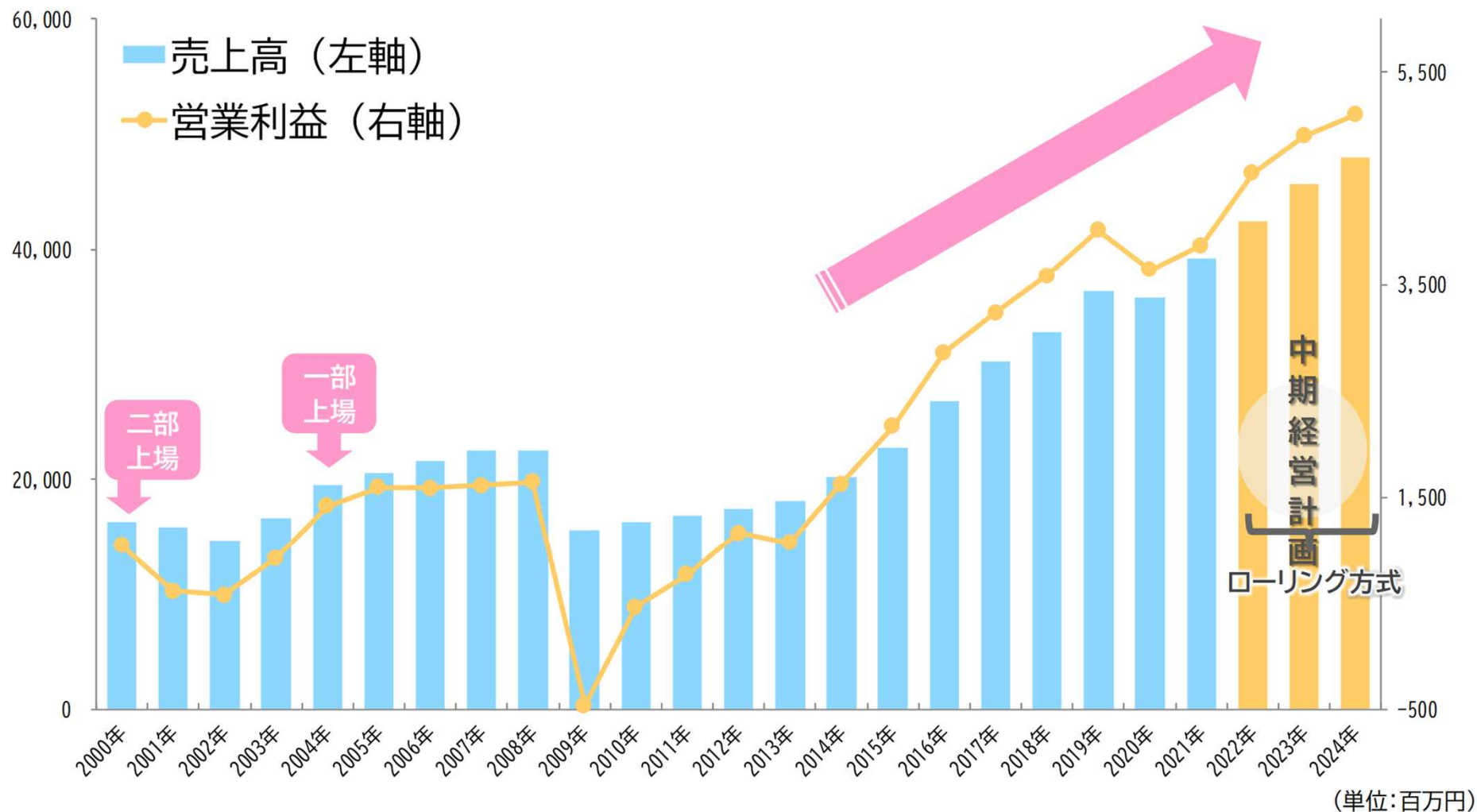
- ・連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- ・中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・業績にかかわらず年間配当10円を維持する（安定配当の見地）



■ 中期経営計画 -1-

・業績推移

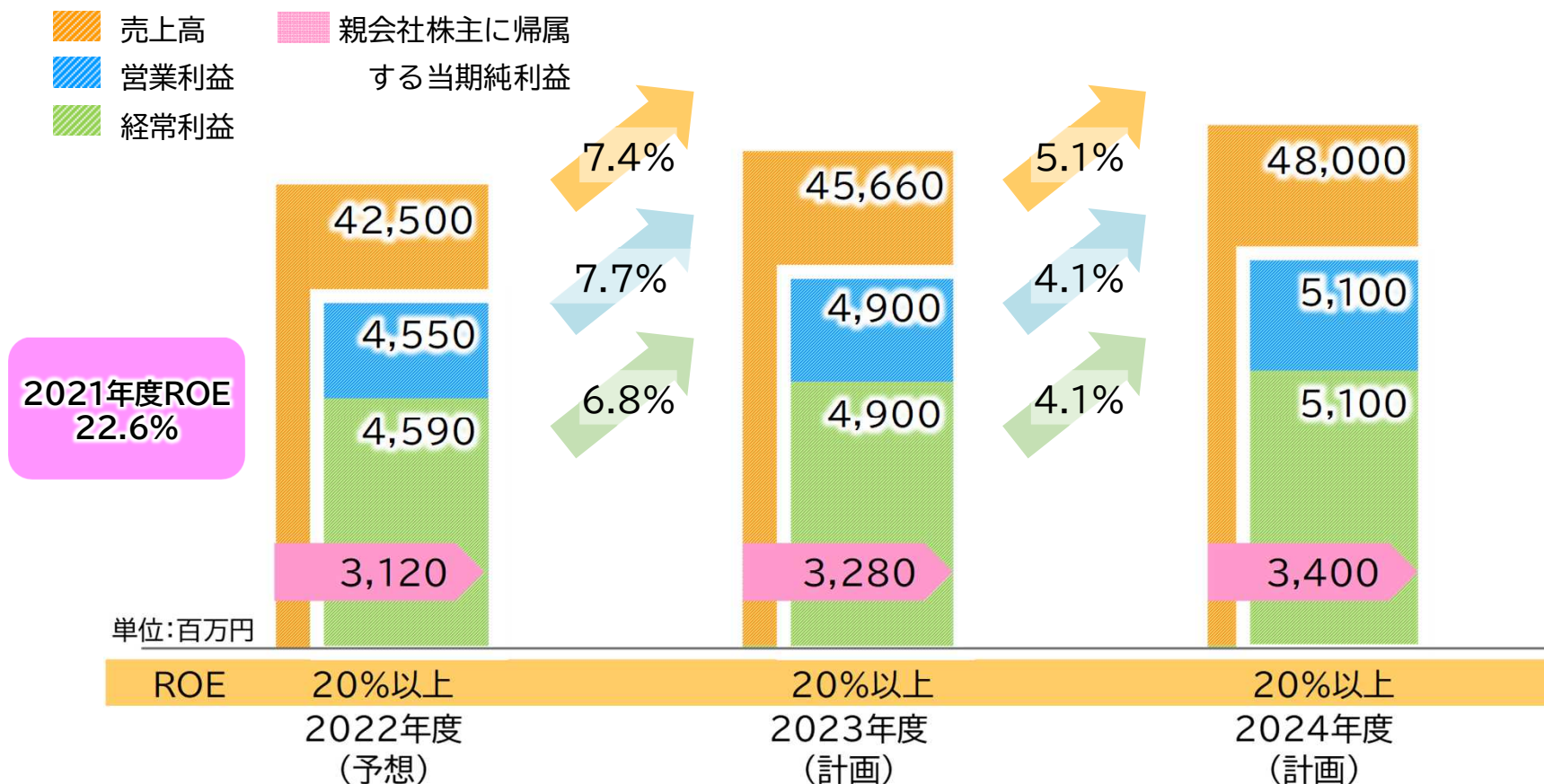
2022年度目標売上高:425億円



■ 中期経営計画 -2-

・3カ年ごとのローリングプランを策定

持続的なイノベーション



※定量目標は第11次5カ年計画に基づき内容更新

■ 中期経営計画 -3-

・第11次5カ年計画(2023年までにありたい姿)

定性目標:新産業革命時代に向けた経営資源の再投資

①アウトソーシング
市場における
持続可能な競争優位
性の創出

- 売上高
2018年比 20%増
- グローバル人材
2018年より新たにアグリ
人材の採用を開始
- グループの全社員数
2018年比 31%増

②投資の拡大による
成長の加速と
収益基盤の強化

- 2018年
(株)アグリ&ケア設立
現:(株)アルプスアグリキャリア
- 2020年
(株)DONKEY設立/
(株)デジタル・スパイス子会社化
- 2021年
(株)アルプスケアハート設立

③事業環境の変化に
対応した人材育成と
組織の最適化

- 先端技術への取組み
2018年にプロジェクトを
組成し、先端技術教育加速
- オンライン活用
自社内でスタジオを整備し、
採用・教育・営業の場で活用
- 管理職に占める女性の割合
2022年7月時点で5.3%
2018年比1.5%増

■ サステナビリティ・ESGの取り組み

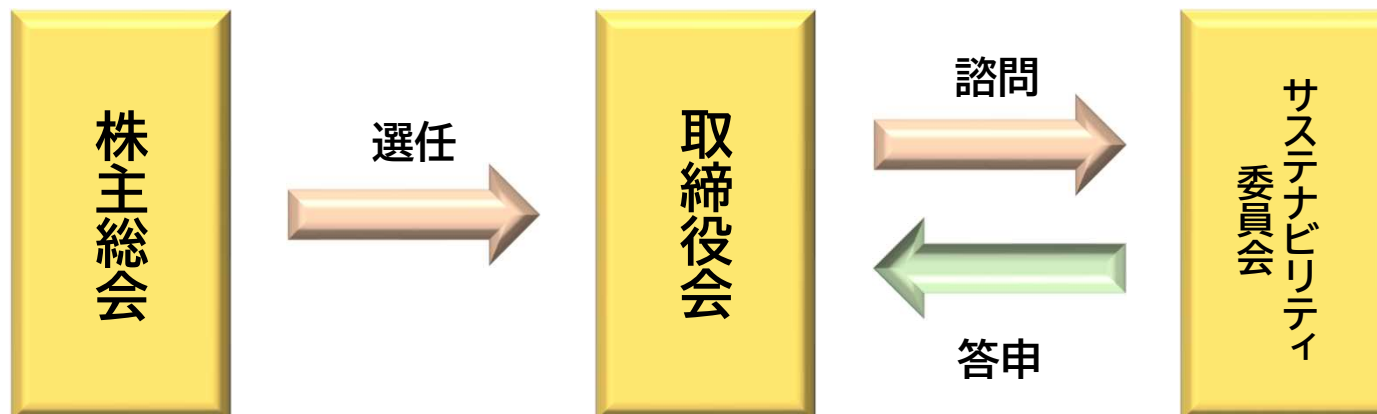
・2021年11月11日、基本方針制定、委員会設置

【サステナビリティ基本方針】

私たちアルプス技研グループは、経営理念「Heart to Heart」に基づき、人と人との心の繋がりを大切に、事業活動を通じて、持続可能な「環境」「社会」の実現と、持続的な企業価値の向上を目指します。

1. 高度で多様な技術サービスの提供により地球環境の保全に取り組みます
2. 経営資源である人材と技術力を活かし様々な社会課題の解決に取り組みます
3. 良き企業市民としてステークホルダーと協力し社会貢献活動に取り組みます

【サステナビリティ委員会の役割】



■ サステナビリティ・ESGの取り組み

・2050年のカーボンニュートラルを目指します。

【主な取り組み】

社有車のEV化、照明のLED化、
ペーパーレス化などの
省エネ活動推進

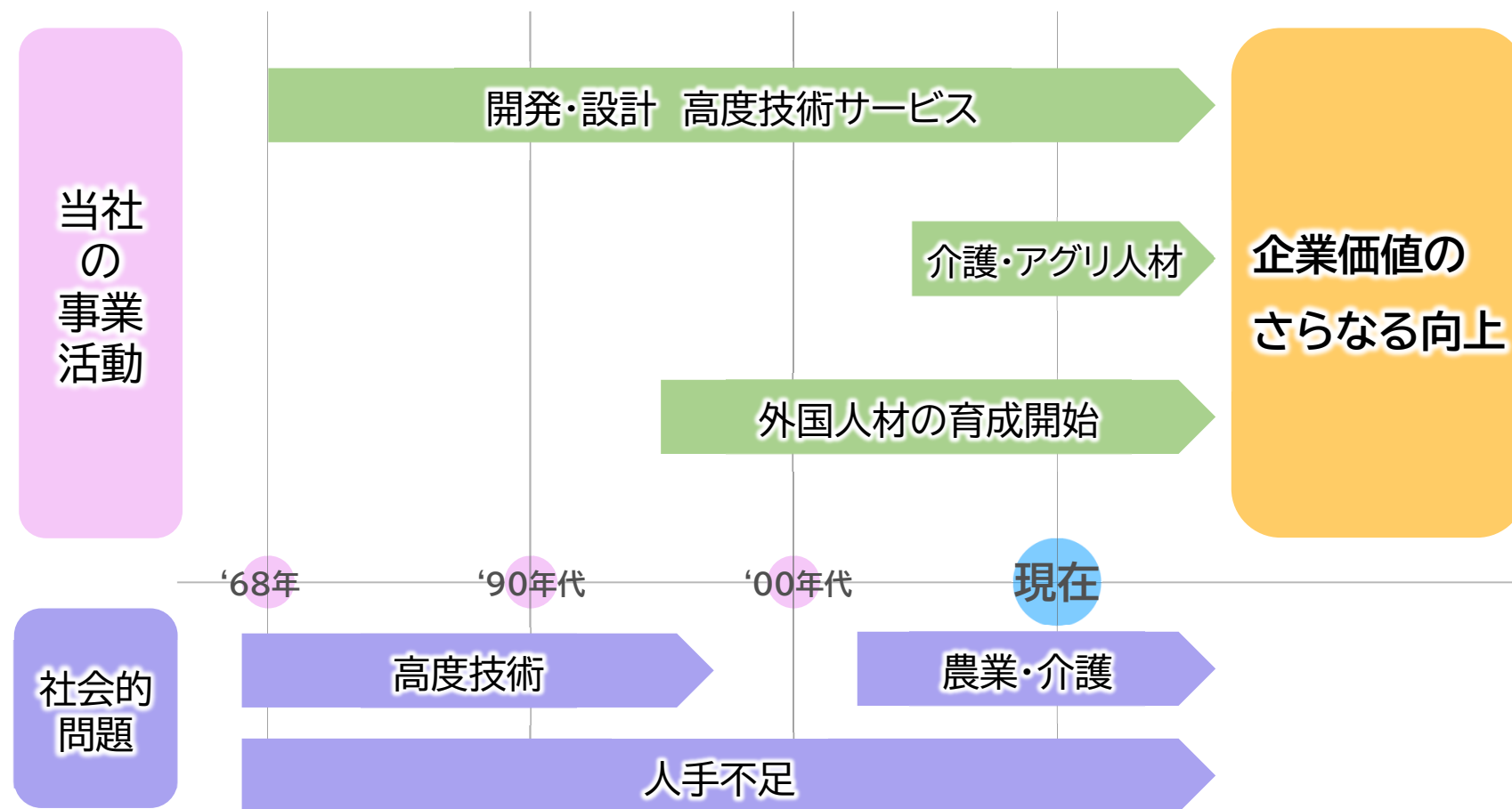
脱炭素社会の実現に向け、
技術サービスによる支援強化

植林・ゴミ拾いなどの活動を通じた、全社員の環境課題に対する意識醸成

■ サステナビリティ・ESGの取り組み

ESG:事業活動を通じた社会的課題の解決

時代に先駆けたグローバル人材の活躍推進





当社公式キャラクター
アルスくん

人が未来—Next Technology Frontier®

Alps 株式会社アルプス技研

アルプス技研は引き続き、積極的に株主還元の充実を図ってまいります。

【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的リスクや不確実性が内在しています。実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。